

関西大学博物館（上）
羽間理事長から寄贈された三原藩
四代浅野忠義の甲冑（右）



甲冑と関西大学博物館

博物館長

上井 久義

関西大学創立一五周年の祝賀すべき年に、羽間平安理事長より本博物館に甲冑の寄贈を受けた。本学出身の甲冑研究者である奈良県立美術館長宮崎隆旨氏の手を煩わせて展示のための飾り付けをおこなった。ここに掲載された写真のような姿となり、一同近世武士の美意識に息をのんだ。

本学博物館には、本館設立の基礎を築かれた故末永雅雄名誉教授が復元された古墳時代の甲冑が展示されている。先生の残された大著『日本上代の甲冑』と共に、研究者のための貴重な資料となっている。

先生ご健在の折、お宅に伺うと、この大著を再刊するための手直しをされていた。そして著書を世にだすことは、娘を嫁がせるようなものだから、紅の一つもさしてやらなければいけない。そう心得ておきなさい、と優しい眼差しで話された。武器に対する厳しい研究姿勢は今も伝説として生きており、飾り気のない先生の口から出た意表の言葉が印象に残った。

先生の復元された甲冑は、現在本館に展示されているが、見るからに頑強そうで、着装した際の重さと窮屈さが伝わってくる。その流れはいかに戦場の場で機能的に効果を発揮できるかであったが、その歴史はそのための技術革新をあとづけるものであったと言える。従来の展示はこれまでの足どりで終わっていた。しかしこの度、寄贈を受けた甲冑の展示によって、この様相は一変することになった。

甲冑の収められていた櫃には、備州三原の城主である浅野忠義が、元禄元年十一月にこれを造らせた旨の墨書があり、これに携わった「鍊職」、「金粧」、「銀具」、「泥威」などの職人が名を連ねている。実践的な武器の切実な必要性を感じない元禄という時期でありながら、胸元の鹿革に南北朝の年号を示す正平の文字をのぞかせ、いかにも古風を装った造りでありながら、各職人達の伝統工芸の技が凝縮された優品で、当時の武士の美意識を具現に物語っている。甲冑は、武器から総合的な美術工芸品として、存在感あふれる装具となった姿として鑑賞にたえる品となっている。それだけに武器としての必要にせまられて造られたというより、儀礼の場に据えられることの意味があったのではないかと考えられる。

近年、博物館の展示も多様化し、コンピューターによる蔵品展示も考えられるようになった。映像による仮想現実の世界に入りこみ、より豊かな資料にふれることも楽しいことである。しかし次には実物にふれてより、その理解度を深化させることが望ましい。それも武器としての甲冑を研究するためにだけでなく、この制作に携わった職人たちの技の見事さにもふれて、多方面の研究の触発になることを願っている。末永先生が甲冑の研究書に紅をさされたように、羽間理事長が本館の展示にまた一つ美しい紅をさして下さったことに関係者一同で感謝している。

(文学部教授)

高台寺に夜間拝観した。ライトアップされた庭園が日中とは違った趣を見せる。かすかに竹の香りがする。足下に気を付けながら順路を辿ると、そこはめずらしく人だかりになっていた。それを足をとめ、なにやら下をのぞき込んでみる。人だかりをぬって下をのぞくと、瞬間、谷間の間に吸い込まれそうになった。そびえる木立に、深さが際立つ▼目の前の情景が、水面に映し出されたものと気が付くまでには、少しも気が付かなかった。照らし出された木立は逆さまをびそびそと「光のあたる」ところだけ映っているからね。昼間は、こうは見えない。物知り顔に友人が言う。いちじんの風に、谷間は消えた▼いつも見ているもの。ふとそんな思いにかられた。わたしたちは、なにをみ、なにをきき、そしてなにを感じているのだろうか。日中の静かな龍池と、この深い深谷と、どちらが真実であるのだろうか▼水面には開山堂の建物も映し出されていた。「龍宮城をのぞいてみたい」龍池の底の光景であると、すでに発想していた。「ずいぶん寂しい龍宮城だね」友人は笑った。(大島 薫)

HEADLINE

- 2 面 国家試験合格者
- 3 面 サッカー部関西リーグ制覇
- 4・5 面 特集 関西大学115年のあゆみ
- 6 面 国立台湾大学と協定締結
- 8 面 学園祭特集

国家試験合格者33人

大学卒業生 永年三月卒 業予定を含む、対象に...

大学人事

北嶋教授が受賞



新役職者紹介

一月目は、研究所の規定の改正に尽力された...

経政研の一層の発展を期待

現在、学内では公認会計士試験、司法試験...

大学院外国語教育学研究科 来春開設へ準備進む

いよいよ最終の設置認可を待つ大詰めを迎えている...

学位取得

「鋼材の超低サイクル疲労」に関する研究...

「近世仏教歴史の研究」に関する研究...

「近世仏教歴史の研究」に関する研究...

「鋼材の超低サイクル疲労」に関する研究...

「鋼材の超低サイクル疲労」に関する研究...

矢島教授 電子情報通信学会 先見論文賞を受賞



九月十九日、電気通信大学で開かれた電子情報通信学会...



辻岡美延先生を偲んで

先生は、九〇年に京都大学文学部心理学科を卒業された...



田島 治先生を偲ぶ

先生は京都にお生まれ、京都府南丹波郡上野原町に育ちました...

平成13年度 司法・公認会計士試験 公務員 合格速報

平成14年度 新規開講講座「コース」 公務員講座 司法試験講座

大学院入試 254人が合格

サッカー部 快進撃 4年ぶりの関西リーグ制覇!

学生諸団体の行事予定

山田沙知子さんに金メダル 大島賞贈呈式を挙げる

秋のさわやかな汗が光った

交換留学へ意欲

秋のさわやかな汗が光った

秋のさわやかな汗が光った

高槻の窓

秋のさわやかな汗が光った

秋のさわやかな汗が光った

秋のさわやかな汗が光った

秋のさわやかな汗が光った

飛躍期 (終戦から創立100周年まで)

昭和23年4月1日 関西大学は全国にさきがけて新制大学に転換した。
——平和よみがえり、新生の気みなぎる新たな旅立ちである。



創立100周年記念式典 昭和61年11月2日、大阪城ホール



工学部の設置 昭和33年4月



アメリカン・フットボール部 第2回甲子園ボウル(昭和23年)で学生日本一



社会学部の設置 昭和42年4月



日・印共同学術調査 100周年記念事業の一つとしてインドの「祇園精舎」跡を発掘



市口政光 第18回東京五輪(昭和39年)レスリングで金メダル

昭和二十年八月十五日、太平洋戦争が終わり、学生たちは戦場や動員工場から学園へもどってきた。混乱と虚脱の中から立ち上がった学生たちは、学友会を結成し、スポーツ・文化各部も活動を再開した。昭和二十三年、全国に先駆けて新制大学に転換した関西大学は、その後教育・研究面での充実を努め、昭和三十三年には工学部を、昭和四十二年には社会学部を設置した。昭和六十一年十月には創立百周年を迎え、大阪城ホールで厳かに世紀の祭典を挙行した。

関西大学115年のあゆみ

A Pictorial History of Kansai University 1886~2001

(企画・編集 年史編纂室)

21世紀が始まった今年、関西大学は創立115年を迎えた。それを記念して、創立記念日の11月4日に『関西大学115年のあゆみ』が刊行された。



尚文館 平成12年7月竣工



マルチメディアAV大教室 ATM高速ネットワークの利用で、世界中とリアルタイムで映像交換が可能



選抜高校野球大会準優勝旗を先頭に行進する第一高校野球部ナイン 平成10年4月



総合情報学部の設置 平成6年4月

関西大学第2世紀 (創立100周年から創立115周年まで)

昭和六十一年十一月四日 関西大学第2世紀の扉がひらいた。さらなる夢の実現にむけて新たな階をのぼりはじめる。



キャンパスの四季 秋



春 大学入学式



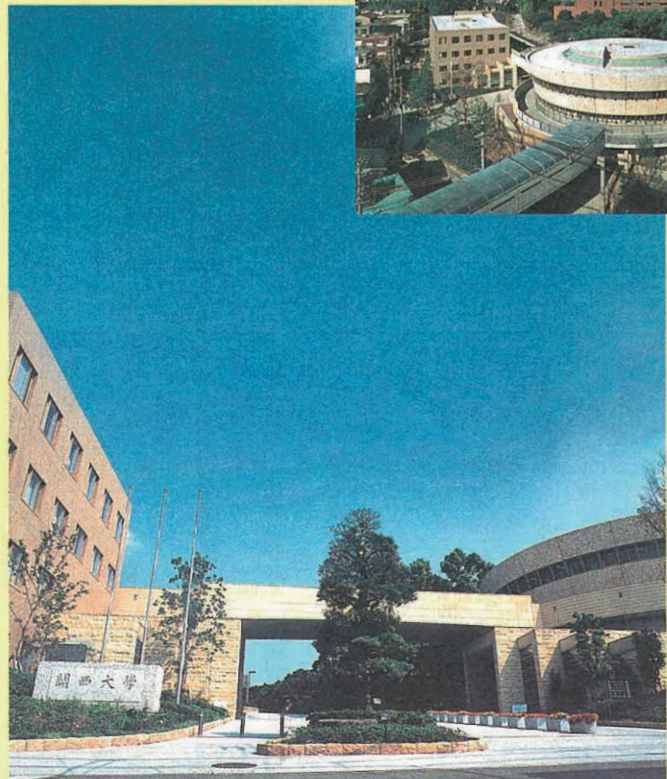
夏



冬



夏期英語セミナー 昭和58年以来、現在までに海外の18大学と学術交流協定を結び、交換留学や海外語学セミナーなど、国際交流に力を入れている。



新関西学生会館 平成8年10月竣工

「関西大学一五年のあゆみ」A4判 一六〇ページ オールカラー 発行 学校法人 関西大学 企画・編集 年史編纂委員会



江戸堀校舎 明治36年11月竣工。初めて自前建てた校舎



願宗寺表門 関西大学の前身である関西法律学校は明治19年11月4日、大阪西区京町堀の願宗寺を仮校舎として開校

明治十九年、関西大学の前身である関西法律学校の創立にあつたのは、大阪控訴院、同判事若狭の若狭司法官と在野の自由民権活動家であり、指導したのは控訴院長の児島惟謙であった。児島はのちに大審院長となり、「大津事件」の際、権力に屈せず、法の権威を守ったことで有名である。創立者たちの志は、長い封建制の下で抑圧されてきた人たちに人権の大切さを教えることであつた。



福島学舎 江戸堀校舎を移転・増築して明治39年に竣工。すぐ前に東海道線があつたため、列車の騒音と振動で授業が妨げられたという。



初期の校舎・興正寺 入学希望者の急増に伴い、明治20年4月、北区河内町の興正寺別院へ移転



第1回卒業記念写真 厳しい卒業試験に合格して明治22年9月16日の第1回卒業式を迎えたのはわずか17人にすぎなかつた。

発展期 (大学昇格から終戦まで)

大正11年6月5日 この日、関西大学は名実ともに「大学」となった。
——大学令に拠る大学への昇格 それは、関係者一同の悲願であつた。



総理事・学長 山岡順太郎



大養毅 (通信大臣) 「学の実化」講座で講演



大学本館 昭和2年3月竣工。北浜にあった住友合資会社の本社社屋を受贈、移築



大島鎌吉 第10回ロサンゼルス五輪(昭和7年)陸上・三段跳びで銅メダル



実弾射撃訓練を行う予科生 戦争の拡大に伴い、軍事教練が強化され、勤労動員も課せられるようになった。



天六学舎 昭和4年9月竣工

帝国大学以外の公私私立大学に対しても同等の資格を認める大学令に準拠することは、本学関係者一同の悲願であつた。大学(旧制)昇格に必要な資金を調達するため、募金活動に努力し、学舎や施設の充実に努めた結果、大正十一年六月五日、念願の大学昇格を果たした。総理事兼学長に就任した山岡順太郎は、新しい大学の指導理念として、「学の実化」を唱導。学問と実際の調和をとくこの理念は、その後、関西大学の学風として定着した。

新産業創出を支援する大阪TLO

一本学も重要な役割を担う

石川 啓

大阪府内大工学学会会長 産学連携部会長
大阪産業振興機構 TLO 担当理事

前後紀の末の、わが国の経済は低迷を続けており、いまやその経済、産業、社会の構造が着実に立て直し直るようになってきている。このような状況の中で、新産業の創出が期待されている。この新たな状況の中で、新産業の創出が期待されている。この新たな状況の中で、新産業の創出が期待されている。

韓国 漢陽大学校との国際シンポジウムを開催

後藤 元伸

—高情報通信技術をもたらす制度改革—
本年十月十五日(水)午後六時の両日、わが国と国際シンポジウムを開催いたしました。このシンポジウムは、韓国・漢陽大学校との国際シンポジウムとして、第五回となるものであります。

大阪TLOの特徴は、それが、国を始め大阪府、大阪市、および大阪工業界、大阪商工会議、関西経済同友会、関西経営者協会、大阪大学、など、その関係者との協力を得て、大阪TLOとして活動している点にあります。

国立台湾大学と協定締結

協定校は合計十八校に

かねてから念願であった国立台湾大学との間で学術交流に関する協定を締結することができ、平成七年に決定された協定に基き、今年四月に締結されて、現在までの学術交流に

り、毎年一校を目標に約七年の期間で、同地域にある大学と協定を締結していくという構想、ほぼ沿って計画が進展していることである。

二〇〇二年度入学試験 要項・願書を発売中

二〇〇二年度入学試験要項(願書)(六〇頁)消費税込千四百円、送料別。合格者は、願書に添付した資料請求書(5000円)を入手してください。

父母対象の就職説明懇談会

大阪府社長が講演
十月十七日(水)午後三時三十分から千原山キャンパス第三分館において、文科系学部三年度次生父母対象の就職説明懇談会を開催された。

竹田篤司著 「物語『京都学派』」

物語『京都学派』
竹田篤司著
平成一三年十月発行
中央公論新社



「学」創成に志した人々の壮絶な物語
わが国、三千年が経ち、現代に至る。この本は、西田幾多郎・田辺聖子を中心とした「学」の創成を志した京都学派の人々の、その壮絶な物語である。

交換受入留学生 歓迎会を開催

九月二十日(水)百周年記念会館において、本年九月より一年間在籍する交換受入留学生の歓迎会を実施した。

あなたも図書館利用の達人に

静かに利用するのが、以前より利用者の多くは、情報検索のためのコーナーに注意して利用している。このコーナーは、図書館の入り口付近にあり、最新の検索端末を備えている。

新刊紹介

◆単・編著等
『現代史を見る目』 小山 信著
『解出出版社』二〇〇〇年
『解出出版社』二〇〇〇年

共書等

『雁行形の美学』
日本文学 田中野矢
『雁行形の美学』
日本文学 田中野矢

東西学術研究所 創立50周年記念行事

大庭名誉教授満座の聴衆を魅了
昭和二十二年四月に設立された東西学術研究所が、新世紀の訪れとともに五十周年の節目を迎えたことを記念し、十月二十一日(日)に、祝賀記念の行事を開催する。

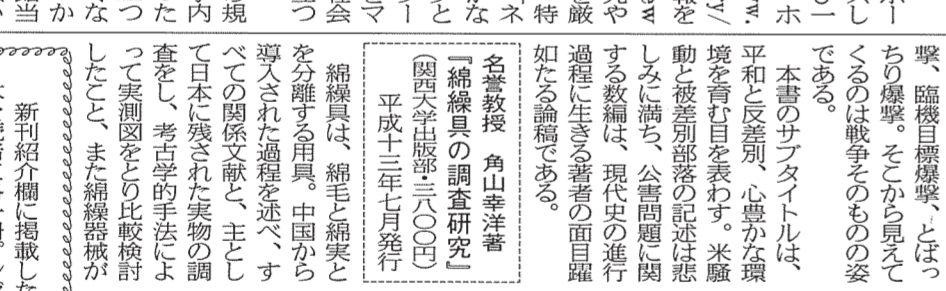
国際シンポジウム開催

人権問題 国際シンポジウム開催
人権問題 国際シンポジウム開催
人権問題 国際シンポジウム開催

新刊書プレゼント

新刊書プレゼント
新刊書プレゼント
新刊書プレゼント

ネットで情報をゲット



あなたも図書館利用の達人に
インターネットを上手に利用すれば、多くの情報を簡単に検索できます。図書館のホームページやデータベースを通じて、最新の学術情報を入手することが可能です。

あなたも図書館利用の達人に
インターネットを上手に利用すれば、多くの情報を簡単に検索できます。図書館のホームページやデータベースを通じて、最新の学術情報を入手することが可能です。

関大通信 第294号

平成13年(2001年)11月28日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/

2001年 学園祭

統一学園祭

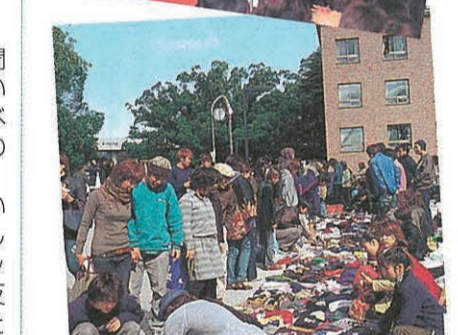
愛して関大~POWER OF 21~

千夜祭

交流~SHAKE HANDS~



今年も恒例の学園祭が、11月2日から5日にかけて開催された。2日から4日までが第2部千夜祭(テーマ「交流~SHAKE HANDS~」)、2日から5日までが第1部統一学園祭(テーマ「愛して関大~POWER OF 21~」)で、この4日間、千里山キャンパスはお祭りムードに包まれた。今年は、千里山中央グラウンド(旧第4グラウンド)の観覧席が整備されたことにより、大規模な後夜祭がおこなわれ、大いに盛り上がった。



新しい千里寄席

第1部文化会
落語大学 山田美郷

学園祭3日目の11月4日、生協横にある小さな茶室で私達落語大学部員一同は、第30回千里寄席を開催した。

例年、千里寄席は大教室をお借りして盛大に開催していたそうだが、現在の部員9名のうち6名が1回生という状況から、大教室での開催を断念し、一時期寄席自体もあきらめかけていた。しかし、他のクラブの方々から厚い声援を頂いて、今回伝統を重んじつつも自分達が今できる事をしようという事になり、このような茶室での寄席になった。

当日、小さな茶室はお客でいっぱいになり、この日の為に日々練習してきた私達は緊張しつつも、総勢103名の方の前で、芸を披露することができ非常に良かったと思う。入部して初めて落語を聞いた様な私達が、たった7カ月で今度は聞かせる側に立たせて頂いたわけだが、やはり落語は奥が深く、課題点が山積みである。今後の公演に向けて、部員一同練習を積んでいこうと考えている次第である。

(第1部法学部1年次生)

トックっていったい何なん?

第2部学術研究会
朝鮮文化研究部
徳山敦子

「ん? トック徳山店、トックっていったい何なん?」この3日間で最も多く聞かれた事です。私達朝鮮文化研究部は、毎年韓国民族料理であるトックを売っています。これは韓国風のお雑煮のことです。鶏がらから採ったスープの中に、白く平べったいお餅、トックや野菜、ミンチ肉、ゴマ、蒲鉾が入っています。全部で7種類の具が入って200円で販売しました。

毎年横を見れば、おでんと焼き鳥、そして前をみれば焼きそばにカレーナンといった多種多様な店が並び、私達の店は特異な店であることは若干ながら認識しておりました。しかしながら、今年度も出店してみると、私達の出店しているトックの認識が改めて一般の人々の中に浸透していないことを痛感させられました。反面それは私達の出店内容が独自性を表し、また、一般の人々にトックを伝えることにつながるとも思いました。来年もトックを伝えることによって、朝鮮と日本の交流の手助けになればと思います。

(第2部文学部4年次生)

学園祭を振り返って

統一学園祭実行委員長 山下貴生

今年度統一学園祭も「愛して関大~POWER OF 21~」のテーマのもとに、この関西大学をこよなく愛する多くの方々のご理解と協力により無事、そして盛大に終えることができました。特に学園祭の最後を彩る後夜祭は、直前まで雨が降っていたにもかかわらず、多くの人々に楽しんでいただき、また大きな混乱も起きず、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

来年度もさらにこの学園祭がますます発展することを、今は願ってやみません。

(第1部経済学部3年次生)

千夜祭実行委員長

松下元輔

今年度の2部学園祭、テーマは「交流~shake hands~」。テーマに沿った学園祭創りをコンセプトとする千夜祭ですが、今年の千夜祭は如何でしたでしょうか? テーマの発案者である私も、保育園の子供達や本学周辺の自治体の皆さん、また千夜祭にお越し頂いたお客様を通して、人と人との触れ合い、人の温かみ等を忘れて、人との温かみ等を忘れていた事に気付かされました。

今年度は1部の実行委員長にも初日の餅つき大会に出席して頂き、今までの成り得なかった関西大学1部と2部の交流も図れたのではないのでしょうか? 来年以降、同じ関大を愛する者同志、今年とは違った形かもしれませんが、より親密な関係



最後になりましたが、千夜祭を開催するにあたり、ご協力頂きました皆様に深く感謝しております。また、千夜祭に関わった一人として、これから千夜祭がさらに発展していく事を願うばかりです。

(第2部経済学部3年次生)

KUカレンダー

- 11月
 - 28日(水) ◇博物館新収蔵資料展(12月20日まで)
 - 30日(金) ◇AO入試第2次選考合格発表
 - ◇人権研公開講座(13:30 尚文館生涯学習講義室)「人権教育とセクシュアリティ」石元清英社会学部教授
- 12月
 - 1日(土) ◇編入入試・推薦入試合格発表
 - 2日(日) ◇2・3年次生父母との就職説明懇談会(13:30 千里山・高槻キャンパス)
 - 6日(木) ◇大学院祭(8日まで)
 - 7日(金) ◇学年末(秋学期)試験時間割発表
 - ◇学術フロンティア講習会(15:00 学術フロンティアセンター3階共同実験室)「構造制御の最新の進展」西谷章早稲田大学理工学部教授
 - 10日(月) ◇法学研公開講座(13:00 第1学舎B102教室)「カンボジアと平和の10年の歩み—法整備と法学教育の現状と課題」Youk Ngoyプノンペン大学教授
 - 12日(水) ◇経政研公開講座(13:00 尚文館生涯学習講義室)「WTO体制下における日本の農業・農政」極原正澄経済学部教授
 - 20日(木) ◇第2回就職ガイダンス(千里山21日・22日、高槻20日・21日)
 - 21日(金) ◇冬季休業(1月7日まで)
- 1月
 - 8日(火) ◇リードセンター受講申し込み開始

次号は1月8日発行の予定です

ただ、研究・教育のさらに高い水準を歩き続けるためには、それぞれがゆとりという時間の幅を今後どれだけ広げることが出来るのか。これを考えないと、高い所で足がすくんでしまうことにもなりかねない。(園田 恵)



編集後記

「忙しいですなあ。学内で同僚と出会ったとき、いつの頃からかこれが「こんにちば」の代わりになった。幅二十センチの板であっても、高さが増すにつれて上手く歩けない。歩く幅は決まっているのに、高い所を歩くには、その何倍もの広がりが必要になる。

関西大学も今や二五周年。百年以上の歴史を誇る大学は、日本には数えるほどしかない。これからの関西大学は、日本の高等教育におけるトップレベルの水準を目指す。

今月の表紙



上井久義(うゐい・ひさよし)教授 一九六四年以来、本学で民俗学の講義を担当し、関大民俗学会を指導してこられた。学生指導に熱心で、学生をつれて、よく民俗探訪調査に行かれる。現関西大学博物館長。